

梅が丘地区 コミュニティプラン

若い世代とともに 支え合い活動できる まちづくり



梅が丘地区連合会
平成28年3月

保存版

みんなで助け合う思いやりのあるまちづくり

少子高齢化や核家族化等の社会現象が進む中、ひとり暮らしのお年寄りや共働き世帯の増加などにより地域のつながりや連帯感が薄れてきています。

このような現状から、地域の人々が共に手をさしのべ、支え合い、思いやりのあるまちづくりを進めることが大切です。

若い世代から高齢者世代まで幅広い住民の皆さんが、地域行事や町内活動に気軽に集い、互いに挨拶を交わし、知り合い、つながりの輪を広げ、地域で助け合うまちづくりを進めましょう。

いま行われていること

- ふれあいまつり
- 高齢者ふれあいの会
- 三世代芸能発表会
- ひとり暮らし高齢者見守り訪問

これから充実させたいこと

- 町内会への加入促進
- 運動会、お祭りへの住民参加促進
- 自治広報活動の充実
- 地域福祉活動の充実と活性化



ふれあいまつり

きずなが育む安全・安心なまちづくり

東日本大震災で受けた災害からの復興に、人々の絆が大きな力となったことは、いまだ記憶に新しいところです。自然災害はもちろん、交通事故や火災、窃盗、二セ電話詐欺など常に危険と隣り合わせの生活の中で、住民同士の交流が大きな力になることは間違いありません。

安全で安心して暮らせる“梅が丘”を目指し、関係団体の皆さんと地域の皆さんが、自分たちを守るという意識をもって、力を合わせて住みよいまちづくりを進めましょう。

いま行われていること

- 青色パトロール車による広報・防犯パトロール
- 小学校通学路の安全点検とパトロール
- 防災避難訓練の実施
- 災害時のための備蓄配備
- 災害時生活用協力井戸の登録

これから充実させたいこと

- 防災・防犯意識の高揚
- 不審者情報の早期把握と見守り活動
- 地域防災組織の新たな立ち上げ
- 防災避難訓練の実施
- 防災、防犯隣組づくりの推進



防災避難訓練

子どもたちの未来へ！ 「生きる力」を育むまちづくり

梅が丘地区は、水戸市内でも子どもが多い地域です。

未来を担う子どもたちを健やかに育てるため、子ども会、幼稚園、小中学校などと連携しながら地域であたたかく見守ることが重要です。

子どもたちが多くの地域行事に参加し、多くの世代と関わることで「思いやりの心」、「たくましい心」、「郷土を愛する心」等を育て、次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育むまちづくりを進めましょう。

いま行われていること

- 球技大会
- 子ども夏祭り
- 小学校6年生のリーダー活動
- 水鉄砲大会、親子天体観測など
- ふれあい郷土かるた大会

これから充実させたいこと

- 子ども会への加入促進
- 子ども会の組織強化
- 幼稚園と小中学校との交流



子ども夏祭り

健康で生きがいの感じられるまちづくり

私たちの願いは、いつも元気で心身ともに健やかに暮らしていくことです。

快適な日々を送るために今、子ども世代から高齢者世代まで、個人やグループによる年齢に見合った各種活動が活発に行われています。

地域の多くの皆さんが共に、市民運動会や各種交流行事などをおして、楽しくふれあい、からだを動かす機会を増やし、健康で明るいまちづくりを進めましょう。

いま行われていること

- 市民運動会
- 三世代交流スポーツ大会
- 歩く会
- いきいき健康クラブ

これから充実させたいこと

- スポーツ大会の継続
- 交流行事の継続
- 高齢者交流サロン
- 子育て広場（梅が丘キッズランド）



市民運動会（つな引き）

花いっぱい、心豊かなまちづくり

きれいで住みよいまちづくりのために、地域の皆さんが環境に関心を持ち、主体的に取り組むと共に、お互いが連携・協働して進めていくことが大切です。

ごみのないきれいな環境や花のあるやさしいまちづくりを目指し、地域の皆さん一人ひとりがごみ減量運動やリサイクル運動を推進するとともに、“花いっぱい心豊かなまち梅が丘”を合い言葉に住みよい環境のまちづくりを進めましょう。

いま行われていること

- 花いっぱい運動（花苗配布、花壇の手入れ）
- 花壇コンクール
- ごみ減量リサイクル研修
- ごみの不法投棄監視

これから充実させたいこと

- 各町内の清掃強化
- ごみの減量化、ルールの徹底
- 犬の散歩マナー向上



花壇コンクール

梅が丘地区コミュニティプラン作成について

かつての自治活動は、冠婚葬祭を始めとする諸々の決めごとを地域の主体で行われてきました。しかしながら近年、社会環境の変化や核家族はじめ少子高齢化に伴い生活環境が一変しつつある状況にあります。このようなときに私たちはここに、次世代に向けて、新しい「若い世代とともに支え合い活動できるまちづくり」を策定しました。このまちに住んでよかった。また、これから住み続けたい地域づくりを目指してまいります。

述而不作信而好古

書 永井 尚美

述べて作らず信じて古を好む（論語第七より）
古きことを信じ賢人から知恵を得 これを大事に継ぐこと

古代からの教えのとおり、自治活動は行政と共に課題を克服し邁進させていただく所存です。

梅が丘地区連合会 会長 岩間 秀男

梅が丘地区の歴史

時代	年号	西暦	月	できごと
明治	22	1889	4	水戸市政施行 現市域に15か村誕生。(緑岡村、河和田村等) 緑岡村見和(戸数54戸、人口373人)となる。
	22	1889	1	水戸鉄道水戸～小山間開通(現水戸線)
	27	1894	1	赤塚駅開業
	29	1896	12	常磐線水戸～上野間開通
大正	7	1918	7	岩間街道水戸～岩間間バス全線開通
昭和	16	1941	12	太平洋戦争始まる。
	20	1945	8	水戸空襲 見和・赤塚の家屋一部焼失あり 太平洋戦争終結
	25	1950	6	見和(戸数140戸)
	27	1952	4	水戸市へ合併し緑岡村見和が見和町になる。 裏見和地区が常磐学区に編入。
	30	1955	4	河和田村の一部水戸市へ合併 赤塚町は常磐学区になる。
	34	1959	9	見和町に県営見和団地ができる。
	36	1961	10	第1回水戸市民運動会開催(以後、毎年開催。)
	39	1964	7	見和町長寿倶楽部設立(会員54名)
	39	1964	10	東京オリンピック開催
	41	1966	4	常磐学園短期大学開学
	45	1970	2	県立水戸農業高等学校が那珂町に移転し 農場(現・見和1丁目)閉鎖になる。
	46	1971	4	見川中学校開校
	50	1975	6	町名変更 姫子1.2丁目、見和1.2.3丁目と変更。 一部が見川1.3.5丁目となる。
	51	1976	4	梅が丘地区市民憲章実践会設立
	51	1976	4	梅が丘小学校開校(児童数1,099名) 梅が丘幼稚園開園(園児数90名)
	51	1976	4	見和3丁目に県営会神原団地ができる。
	51	1976	5	見和公民館開館
	58	1983	4	常磐大学開学
	58	1983	5	見和1丁目に県営桜ヶ丘アパートができる。
	58	1983	7	見和地区防犯協会設立
63	1988	10	水戸市自治連合会発足	
平成	7	1995	11	梅が丘地区連合会設立(実践会と自治連合会が統合)
	8	1996	4	水戸市住みよいまちづくり推進協議会設立
	11	1999	11	赤塚駅南北自由通路・橋上駅舎完成
	12	2000	7	裏見和線全線開通(梅が丘通りとなる。)
	14	2002	11	第1回梅が丘ふれあい祭り開催(以後、毎年開催。)
	15	2003	8	第1回梅が丘地区防災避難訓練開催(以後、毎年開催。)
	17	2005	11	梅が丘小学校創立30周年(児童数957名) 梅が丘幼稚園創立30周年(園児数67名)
	18	2006	4	見和図書館開館
	23	2011	3	東日本大震災起こる。梅が丘地区も被災 見和市民センター被災
	24	2012	1	見和市民センターに防災倉庫と備蓄品の配備
	26	2014	7	見和市民センター現在地に新築開館
	27	2015	4	梅が丘小学校創立40周年(児童数870名) 梅が丘幼稚園創立40周年(園児数50名)



日吉神社



見和市民センター



梅が丘地区 地域マップ

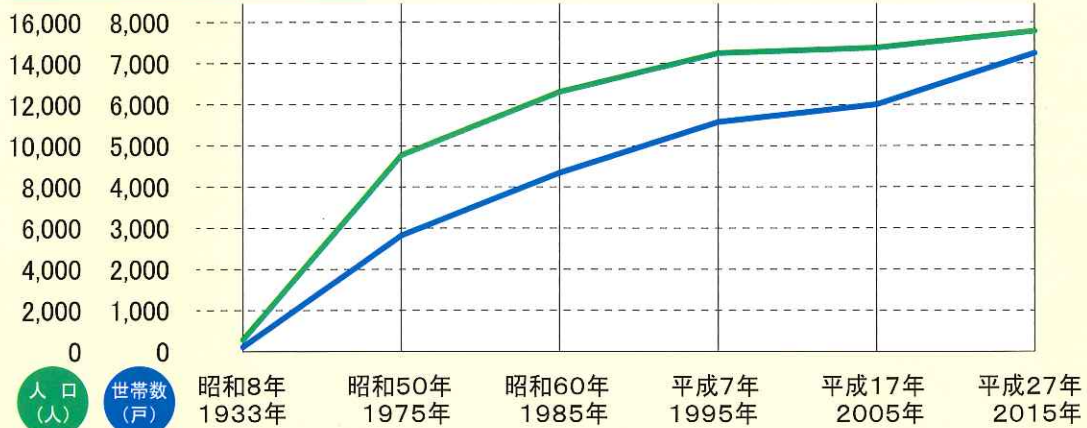


◆指定避難場所：梅が丘小学校、見和市民センター

●災害時生活用水協力井戸



世帯数と人口の動き



年号 西暦	昭和8年 1933年	昭和50年 1975年	昭和60年 1985年	平成7年 1995年	平成17年 2005年	平成27年 2015年
世帯数(戸)	81	2,916	4,354	5,608	6,033	7,195
人口(人)	460(推定)	9,834	12,673	14,338	14,453	15,905

策定委員 岩間 秀男 岩間 勝利 小池 貞 木村 弘道 小泉 拓夫
 後藤 弘道 坂下 哲男 加藤 時雄 小林 祐一 猪瀬 みよ子 樋口 てい子
 相澤 汎 大畠 純栄 石川 慎子 倉田 信夫 小泉 二郎 若山 悦子
 桑名 義教 信木 節子 小林 俊文(梅小)

梅が丘地区コミュニティプラン策定委員会
 事務局:見和市民センター内 (TEL: 253-1273)
 2016年(平成28年)3月発行